



# ふたば診療所通信



医療法人社団 支心 事務局 <http://www.shishinn.com>  
〒085-0008 釧路市入江町9番14号  
tel0154(23)3001 fax0154(64)6611

facebook随時更新しております  
2016年4月15日 (第11号)

## ナラティブにいいこう！！

平成28年3月26日、私は新幹線開通にわく函館市民文化会館の会議室にずっと座っていました。新幹線も見なければ、航空ショーも音だけ、お祝いのお祭りには全く参加せずに帰ってきました。遠い函館まで出掛けていったのは函館ジェネラリストカレッジ07「函館ものがたり塾」に参加するためでした。きっかけは昨年11月に釧路で開催された在宅医療推進フォーラム講師を務めた「ものがたり診療所」の佐藤伸彦先生と懇親会で色々とお話をさせて頂き、「函館で会いましょう、同じ志を持つ仲間が集まりますよ」と誘われたからでした。支心の理念「穏やかなこころ」は人の幸せな状態を私なりに表現した言葉です。これまでも治療法の選択に当たっては「医学的に正しいか？」よりも「どうすればその人の人生がより幸せになるか」を優先する事さえありました。「どうすればより幸せになれるか」の判断根拠はその人の人生。

「どう生きてきたのか、これからどう生きてゆきたいのか？」であり、  
**過去の経験、出来事を関連づけ、要約したもの＝物語(ナラティブ)に他なりません。**

選択に当たってよく聞く言葉で「答えはすでにその人の内にある」がありますが、そうではなく「ものがたりの中なら選択が生まれる」事を学びました。

わたしは患者さんと直接に話しをする事を大切にしています。できれば二人きりで。

これまで生きてきたあゆみをお聞きし、様々な事柄を教えて頂く事は、時にご本人にとって負担となり、ご家族にとっては不快で迷惑な事かもしれません。しかしその人の人生のものがたりは本人の口から、本人の言葉で聞きたいのです。

私と患者さんの会話は患者さんのお話を聴く、反応を返す。また語られることを聞き再び反応を返す。この繰り返しです。この循環はそれ自体が新しいものがたりを創り、ここから生まれる選択は患者さんが一人で行ったものではなく、私が勝手に描いたものでもありません。

もっと大きな気づきがありました。

私が父の残した病院を辞めてまで在宅医療に取り組んだのは患者さんに「その人らしく幸せに暮らして欲しい」と願ったからです。そして「患者さんが一番そのひとらしくいられる場所が自宅」だったのです。

つまり私は在宅医療をしたかったのではなく、ナラティブな態度で医療を実践したかったのです。

死が迫っていることを宣告され、ものがたりが語り継がれることなく、新しいものがたりを創ることもなく一人苦しむ患者さんに出会います。

明日が見えず、希望を失い、失ってしまったものを嘆き、手に出来ないものを求め続ける。

自ら語ることをしない人には、これまでの人生で得たたくさんの宝物と誇りを確認する作業と一緒にさせて頂く事で「俺の(私の)人生もそんなに悪くなかったな…」そう感じていただきたい。

宝も誇りも一切否定してしまう人もいて「俺の人生なんて…」そんな言葉しか聞き取れない時でも

私はあなたを、あなたの人生を尊敬し、あなたに出会えた事に感謝します。と伝えることだけは忘れない。

亡くなった方を見送るとき「ありがとうございました」と感謝する事を忘れない。

何が正しいかではなく、その人がどう生きたいか、その人の物語に触れ、新しい物語をつくり続けていこう。そして、そのひとの物語を語り継いでいこう。

これからも、ナラティブな態度でその人らしく幸せな人生を生きるお手伝いをしたいと思います。

2016/04/14 谷藤 公紀



かなり前になってしまいましたが、1月9日のお誕生日の先生の写真です。



# 座って踊るフラダンス



4月11日(月)我らが太田看護師の所属するフラダンスチーム「プアメリア・フラ・ファミリー」の代表、両角(もろずみ)先生と太田看護師で「座って踊るフラダンス」のレッスンを行って下さいました。

高桑所長が寄贈して下さった衣装やレイや髪飾りを身につけ、皆さんも職員も気分はすっかりアロ〜ハ〜ってカンジです！参加者の皆さまの身体状況に合わせて振り付けを考えて下さったのですがもろずみ先生も「皆さん、けっこうお身体動きますね〜」驚かれていたようです。



皆で、美しい音楽にのって、笑顔で身体を動かしているうちに会場も熱気ムンムン！フラの優しさ、優雅さに皆が癒されたひとときでした。今後も継続的に行っていく予定です。参加ご希望の方はご連絡下さいませ。この日は町内会に方や市内のグループホームの方々も参加して下さいました。当日飛び入りも大歓迎ですよ！！

## <スタッフ紹介>

お待たせしました！！育児休暇が明けて、待望の工藤咲子看護師の現場復帰です。とても優しく明るい工藤看護師の復帰に患者様はモチロン、職員も大喜びです！これからもどうぞ宜しくお願いします。

## ●●工藤咲子看護師からのメッセージ●●

また、みなさんにいろいろ教えていただきながら頑張っていきたいと思いますのでよろしく願いいたします。



## 新任看護師のご紹介



ふわり訪問看護ステーションに待望の新しい看護師がやってきました。名前は「堀田 奈央」さん。立派なキャリアをお持ちの方ですが特筆すべきはその人柄でしょう！！とても優しく礼儀正しく尊敬する所が沢山です。ご紹介下さったとあるベテラン看護師さんも「とっても良い人」と人柄に太鼓判を押しております。我々も心強い仲間が増えて嬉しい限りです。

### 堀田看護師からのメッセージ

病棟・外来の経験しかなく訪問看護は初めてで勉強になることばかりです。早く慣れるように頑張ります。宜しくお願い致します。

## <編集後記>

2月は通信を送るべく準備をしていたのですが、間に合わずお休みを頂きました。ご心配を頂いた皆さま、申し訳ありませんでした。4月に入り釧路も春らしくなってきましたね。福寿草やクロッカスが咲いているのを見つけては嬉しい気持ちになっています。先日ホスピス・ケアふわりの昼食は天ぷらだったのですが「ふきのとう」や職員の岩谷君が釣ってきた「チカ」が食卓に並びました。昔、知り合いのお婆ちゃんが「山菜を食べなさい。山菜は山の栄養が詰まっているから食べたら元気になるよ。」と教えてくれたものでした。これからはクレソン・アイヌネギ・こごみ・たらんぼ・よもぎ・などなど美味しい食材がたくさん出てきますね。山の恵みに感謝しながら皆で山菜を食べて元気になりましょう！！

東